



平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	7,308	7.8	272	48.6	358	85.3	192	67.6
29年6月期第1四半期	6,776	8.0	183	10.3	193	4.1	115	34.8

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 263百万円 (30.5%) 29年6月期第1四半期 202百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	47.93	
29年6月期第1四半期	28.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	21,163	10,299	46.8
29年6月期	20,963	10,279	46.9

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 9,898百万円 29年6月期 9,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		45.00	45.00
30年6月期					
30年6月期(予想)		0.00		47.50	47.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,900	0.0	655	9.0	700	3.6	385	10.8	95.66
通期	32,000	3.4	1,400	1.2	1,470	1.4	800	24.9	198.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	4,369,200 株	29年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	344,720 株	29年6月期	344,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	4,024,509 株	29年6月期1Q	4,024,646 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の好調に支えられ輸出が好調であったことに加え、為替の緩やかな円安傾向や原材料価格が安定していたこと等により企業業績が好調に推移し、設備投資も漸増する好循環の中で推移しました。

当社グループとしましては、当社グループの海外ネットワークを活かして海外ビジネスを拡大させているのに加え、国内においてもIoTやAIによって牽引される第4次産業革命といわれる新規イノベーションが新規設備投資を誘発し、IT技術とFA技術との融合領域が守備範囲である当社グループにとっては大きなビジネスチャンスが増大してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は73億8百万円（前年同四半期比7.8%の増）となり、損益面としましては、営業利益が2億72百万円（同48.6%の増）、経常利益が3億58百万円（同85.3%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億92百万円（同67.6%の増）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、製造業の製造管理能力向上を目的とした各種試験機や省力化・生産効率改善を目的としたシステムビジネスが好調に推移したため、大幅な増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は27億14百万円（前年同四半期比30.1%の増）、営業利益は1億11百万円（同11.5倍）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては制御機器等の好調な分野もある一方、コンポーネント機器やメカトロビジネス等が落ち込んだこともあり若干の減収でしたが、利益はほぼ前年同期並みを確保しました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は45億83百万円（前年同四半期比1.9%の減）、営業利益は2億48百万円（同1.4%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は211億63百万円で、前連結会計年度末に比べ2億円の増加となりました。これは主として現金及び預金が減少した一方、商品及び製品等が増加したことにより流動資産合計が1億70百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が108億64百万円で、前連結会計年度末に比べ1億79百万円の増加となりました。これは主として未払法人税等が1億19百万円減少した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が3億14百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が102億99百万円で、前連結会計年度末に比べて20百万円の増加となりました。これは主として非支配株主持分が45百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が54百万円、利益剰余金が11百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況は、Goldilocks（適温のスープ⇒心地よい経済成長の意）、或いはGreat Moderation（大いなる均衡⇒適度な経済成長の意）と呼ばれるほど安定しており、インフレなき堅実な経済成長と企業業績の伸張、輸出の好調、為替の安定、株価の上昇といった、特に死角が見当たらない順調な成長軌道にあります。

当社グループを取り巻く環境は、IoTやAI等の技術革新によるイノベーションにより新規需要が次々と生まれており、今後期末に向かってこの追い風を受けて順調に推移すると考えております。

以上により、平成30年6月期の通期業績予想につきましては、平成29年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,628,364	1,169,849
受取手形及び売掛金	8,580,615	9,281,912
電子記録債権	2,156,096	1,579,920
有価証券	113,205	114,160
商品及び製品	351,722	535,721
仕掛品	361,614	475,140
原材料	447,512	498,968
その他	183,529	339,515
貸倒引当金	△45,309	△46,918
流動資産合計	13,777,351	13,948,271
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,016,971	4,016,971
その他(純額)	1,122,655	1,121,619
有形固定資産合計	5,139,626	5,138,590
無形固定資産		
	93,795	84,626
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510,957	1,572,004
その他	552,688	531,602
貸倒引当金	△110,858	△111,414
投資その他の資産合計	1,952,787	1,992,193
固定資産合計	7,186,209	7,215,410
資産合計	20,963,561	21,163,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,289,654	6,616,178
電子記録債務	974,858	963,059
1年内返済予定の長期借入金	-	500,000
未払法人税等	311,576	192,407
賞与引当金	148,026	282,396
役員賞与引当金	39,485	-
その他	624,557	548,672
流動負債合計	8,388,158	9,102,715
固定負債		
長期借入金	1,700,000	1,200,000
退職給付に係る負債	221,474	187,543
その他	374,732	373,833
固定負債合計	2,296,206	1,761,377
負債合計	10,684,364	10,864,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,861,587	1,861,587
利益剰余金	6,680,883	6,692,766
自己株式	△423,993	△424,195
株主資本合計	9,559,917	9,571,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,994	327,207
その他の包括利益累計額合計	272,994	327,207
非支配株主持分	446,285	400,783
純資産合計	10,279,197	10,299,588
負債純資産合計	20,963,561	21,163,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,776,817	7,308,054
売上原価	5,706,525	6,102,078
売上総利益	1,070,291	1,205,976
販売費及び一般管理費	887,031	933,730
営業利益	183,260	272,245
営業外収益		
受取利息	1,468	1,558
受取配当金	1,215	1,027
仕入割引	8,047	9,985
為替差益	-	3,050
補助金収入	-	68,071
雑収入	8,481	5,562
営業外収益合計	19,211	89,255
営業外費用		
支払利息	2,742	1,723
手形売却損	91	341
売上割引	776	908
為替差損	4,043	-
雑損失	1,328	-
営業外費用合計	8,983	2,973
経常利益	193,488	358,527
特別利益		
固定資産売却益	9	15
投資有価証券売却益	19,792	27,442
特別利益合計	19,802	27,458
特別損失		
固定資産除却損	11	50
固定資産売却損	12	-
投資有価証券売却損	7,161	-
事務所移転費用	-	3,514
特別損失合計	7,185	3,564
税金等調整前四半期純利益	206,105	382,421
法人税等	75,098	178,654
四半期純利益	131,006	203,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,888	10,852
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,118	192,914

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	131,006	203,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,168	60,156
その他の包括利益合計	71,168	60,156
四半期包括利益	202,175	263,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,903	247,127
非支配株主に係る四半期包括利益	20,271	16,795

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,085,955	4,670,962	6,756,917	19,899	6,776,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,852	23,899	62,751	17,938	80,689
計	2,124,807	4,694,861	6,819,669	37,837	6,857,506
セグメント利益	9,657	245,029	254,686	29,913	284,600

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	254,686
「その他」の区分の利益	29,913
全社費用(注)	△101,339
四半期連結損益計算書の営業利益	183,260

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,714,159	4,583,442	7,297,602	10,452	7,308,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,747	91,016	180,763	17,498	198,262
計	2,803,907	4,674,458	7,478,366	27,950	7,506,317
セグメント利益	111,503	248,559	360,062	23,276	383,338

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	360,062
「その他」の区分の利益	23,276
全社費用(注)	△111,093
四半期連結損益計算書の営業利益	272,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。